

令和6年度歯・口の健康に関する図画・ポスター及び健康啓発標語 特選作品に対する審査員の講評

図画・ポスターの部

県内から地方審査等を経て選出された作品総数は79点です。幼稚園の部8点、小学校低学年の部22点、小学校高学年の部22点、中学校の部22点、高等学校1点、特別支援学校の部4点の中から特選6点、入選15点を選びました。

【幼稚園】

黒、白、赤と肌の色がはっきりと大胆に塗り分けられ、歯みがきに楽しく取り組んでいる様子を表現する、動きのある画面となっている。輪ゴムによるプリンティングと、黒い服にクレヨンの線で描かれた模様が個性的で、面と線の対比が魅力を生み出している。

【小学校 低学年】

似通った顔の三人が歯みがきする様子から、家族そろっての歯みがきが習慣になっていることがうかがえる。赤と緑、黄と紫という補色を服とコップ、歯ブラシにうまく配置した鮮やかな画面から、意欲をもって歯みがきに取り組む健康的な雰囲気を感じることが出来る。

【小学校 高学年】

学校で歯みがきに取り組む友達だろうか。歯ブラシをくわえる口元の様子をよく観察して、表情豊かな二人の個性がうまく描き分けられている。パステルで描かれた線がきれいだ。背景の壁面のテクスチャーがシンプルで、人物を際立たせている。

【中学校】

家族で歯みがきに取り組む両親と赤ちゃんが、温かい様子でほほえましい。父親が登場する作品は意外と少なく、子育てに参加する姿は印象的である。赤ちゃんが父親の大きな歯ブラシを持ち、父親が赤ちゃん用の小さな歯ブラシを持っている姿の対比も効果的だ。

【高等学校】

日本語の歯と英語の tooth を対比し、日本人と欧米人の二人の人物の特徴を丁寧に描き分けて、歯の健康は世界共通で取り組む課題であることをうったえかけている。8020 という標語もグローバルに理解できる目標として、世界に広げられるものだろう。

【特別支援学校】

絵を描くことを楽しんでいる様子が、歯みがきを楽しむ表現につながっている。シャボン玉を使った背景の模様も楽しげだ。鉛筆で描いた個性的な線と、歯ブラシの大胆なコラージュの対比が、さわやかな構図を生み出し、効果的な表現となっている。

標語の部

県内から地方審査等を経て選出された作品総数は53点です。

小学校の部37点、中学校の部16点の中から特選1点、入選3点を選びました。

歯は生涯を通じてのパートナーであること、歯や口の健康が笑顔や輝く未来につながることを表現した作品が多くみられた。

楽しく覚えられる標語が多く、こどもたちが自発的に歯みがきを行う習慣を身につけることにつながる標語となっていた。

【特選】

「歯みがきは 体を守る 第一歩」

歯みがきが単なる口腔ケアだけでなく、健康維持において基本的かつ重要な行為であることを明確に伝えている。口腔内の健康が全身の健康に影響を与えることを示唆した、理解しやすく、歯・口の健康だけでなく、生涯にわたり健康を守り続けていこうとする意志を感じる作品である。